

開講年度	2022 年度	科目名	介護総合演習
------	---------	-----	--------

1 科目概要

科目コード		教科	福祉		単位数	2 単位	
開設学年	第 1 学年	開設学科	生物生産科	農業機械科	食品科学科	総合ビジネス科	介護福祉科
							○
教科書(出版社)							
副教材(出版社)		最新・介護福祉士養成講座 10「介護総合演習・介護実習」(中央法規) 介護福祉スタッフのマナー 基本テキスト (日本能力協会マネジメントセンター)					

2 目標

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域福祉や福祉社会について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価方法

学習活動状況(出席・意欲・態度等)、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

4 授業の受け方・留意点

必要事項をノートやプリントに書き込む。積極的に演習に参加し、学んだことを記録し提出する。

5 学習計画

学期	月	章	単元・学習内容	学習のねらい
1	4	1	介護総合演習で何を学ぶか ・介護総合演習の位置づけ ・介護総合演習の目的	・介護実習の意義と目的、3年間の介護実習の流れ・実習心得を理解する。 ・介護福祉士養成教育のなかで、「介護総合演習」がどのような位置づけになっているかを学ぶ。
	5		介護実習で何を学ぶか ・介護実習の意義と目的 ・介護実習の種類	・介護実習の意義と目的を理解する。 ・介護実習にのぞむにあたり目標をもつことの大切さを理解する。
	6		・実習前の学びと、実習後の学びのいかし方	・介護実習の主な流れと、学習ポイントを学ぶ。 ・他科目で学んだことを介護実習のなかでどのように結びつけ、いかしていくのかを理解する。
	7		現場の接遇マナー ・安心感を与える印象 ・信頼関係を築く言葉	・実習前の学習の意義と目的を理解し、介護実習が始まるまでの流れと実習前の学習の内容を学ぶ。 ・安心感を与えられる態度や信頼関係を良好に保つことができ

			づかい	る言葉づかいを学ぶ。
2	9 1 0 1 1 1 2	2 4	介護実習準備、実習中・実習後の学び ・介護実習前の学習の内容と方法 ・介護実習中の学習内容と方法 ・介護実習後の学習内容と方法 実習報告会 課題研究 現場の接遇マナー ・電話対応の基本 ・接遇対応の基本	・デイサービスセンターの役割、サービスの内容、利用者の概要を理解する。 ・記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 ・観察の技法・コミュニケーション技法を身に付ける。 ・実習にのぞむ態度や姿勢を学ぶ。 ・8月の実習について、レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化などを行い、次の実習に活用する。 ・9月の実習に向けて、記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法・衣服の着脱・食事・清潔の介護の実習を行い、デイサービスセンター実習の準備をする。 ・実習後の学習の意義と目的、学習内容を理解する。 ・レポート作成・記録の整理・反省を行い、各自の課題を明確にする。また、評価を通してデイサービスセンター実習のまとめを行い、次回の実習に活用する。 ・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、デイサービスセンターの現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。 ・デイサービスセンター実習で得た体験などを踏まえて、「利用者像の理解」についての課題を発見し、研究、実験などを通して成果をまとめ発表する。 ・電話や接遇対応の基本を学ぶ。
3	1 2 3	3	介護実習準備、実習中・実習後の学び ・介護実習前の学習の内容と方法 ・介護実習後の学習内容と方法 現場の接遇マナー ・就業中の基本マナー ・在宅のマナー	・グループホームの役割を理解する ・記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法・衣服の着脱・食事・清潔・排泄の介護の実習を行い、グループホーム実習の準備をする。 ・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通してのグループホーム実習のまとめを行い、現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質について考える。 ・介護現場における就業中の注意点を学ぶ。

福祉科「介護総合演習」	単位数	1単位
	学科・学年	介護福祉科（2年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	介護実践に必要な知識や技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かす。
使用教科書 副教材	最新・介護福祉士養成講座 10「介護総合演習・介護実習」（中央法規） 介護福祉スタッフのマナー 基本テキスト（日本能力協会マネジメントセンター）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。 思考・判断・表現 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。 技能 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。 知識・理解 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	必要事項をプリントに書き込む。実技の際は、実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行い、実習記録を提出すること。
-------------------	---

（４）学習計画

「1学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護実習準備、実習中・実習後の学び ・介護実習前の学習内容と方法 ・介護実習中の学習内容と方法 ・介護実習後の学習内容と方法 利用者へのコミュニケーション ・利用者のご家族の心理 ・さまざまな利用者への対応 ・クレームへの対応	・2学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。 ・介護老人福祉施設・介護老人保健施設について理解する。 ・記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 ・観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。 ・様々な利用者や家族等の対応方法を学ぶ。

「2学期」

項 目	学 習 の ね ら い
・介護実習後の学習内容と方法	・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。

課題研究	・高齢者施設実習で得た体験などを踏まえて、「個別ケアの理解」についての課題を発見し、研究、実験などを通して成果をまとめ発表する。
実習報告会	・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。
コミュニケーションの基本	・居宅サービスの役割と意義を理解する。
・人間関係を理解する	・記録の書き方・観察の技法・基本的な介護技術の確認を行い、訪問介護同行訪問実習の準備をする。
・傾聴の基本	・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して在宅福祉のまとめを行う。
・相手に伝わる自己表現のスキル	・コミュニケーションの方法について学ぶ。

「3学期」

項 目	学 習 の ね ら い
介護実習事後学習	・障害者施設の役割と介護者の視点を理解する。
介護実習事前学習	・記録の書き方・観察の技法・コミュニケーション技法を確認し、障害者施設実習の準備をする。
介護実習事後学習	・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通しての障害者施設実習のまとめを行い、現状と課題について考える。
介護福祉の現場で働く	・介護スタッフとしての役割を理解する。
・働く意識をしっかりと	
・介護スタッフの役割	

福祉科「介護総合演習」	単 位 数	1 単位
	学科・学年	介護福祉科（3 年）

（１）学習のねらい（目標）および使用教材

学習到達目標	実習目標を理解し、実習心得を身に付け、介護実習に意欲的に臨む態度を育成する。また、介護実習での各自の課題を明確にし、課題解決能力を育て、次の段階の介護実習に活かせるようにする。
使用教科書 副教材	最新・介護福祉士養成講座 10「介護総合演習・介護実習」（中央法規） 介護福祉スタッフのマナー 基本テキスト（日本能力協会マネジメントセンター）

（２）評価の観点および評価方法

評価の観点	関心・意欲・態度 実習目標を理解し、意欲的に事前・事後学習をしている。 思考・判断・表現 各自の介護実習の具体的な目標を考えている。 介護実習での課題を明確にし、解決のための方法を考えている。 技能 利用者を想定し、基本的な介護技術やコミュニケーションの実習をしている。 知識・理解 実習施設の役割・実習心得・介護技術の基本を理解している。
評価方法	学習活動状況（出席・意欲・態度等）、学習プリント・レポートの提出状況、定期試験の結果等総合的に判断して評価する。

（３）授業の受け方および学習方法

授業の受け方 および学習方法	授業プリントに必要事項を書き込む。実技の際は実習着をきちんと着用し、積極的に実習を行い、実習記録を提出する。
-------------------	--

（４）学習計画

「１学期」

項 目	学 習 の ね ら い
実習Ⅱの展開 ・実習Ⅱのねらいと実習モデル ・実習モデル・介護過程を展開する介護実習 介護実習事前学習 自分自身へのケア ・自分自身へのケア	・3 学年での介護実習の意義と目的、実習の流れを理解する。 ・記録の書き方、実習目標の立て方を理解し、実習記録が書ける。 ・観察の技法・基本的な介護技術・コミュニケーション技法が身に付いているかを確認する。 ・ストレスについて学び、心や身体のセルフケアについて考えることができる。

「２学期」

項 目	学 習 の ね ら い
総合的な演習の展開 介護実習事後学習	・レポート作成・記録の整理・反省と課題の明確化・評価を通して高齢者施設実習のまとめを行い、次の実習に活用する。 ・実習報告会に参加し、実習の課題を共有し、高齢者施設福祉

実習報告会 知っておくと便利なミニ知識 レクチャー１２・１３・１４・１５	の現状と課題について考える。また、望ましい介護専門職の資質についても考える。 ・身だしなみ、文書の基本、お茶のいれ方・出し方等について理解することができる。
---	--

「３学期」

項 目	学 習 の ね ら い
事例研究 課題研究	・事例研究の意義について理解し、テーマを設定する。 ・事例研究を意識した実習の進め方を理解し、考察を行う。 ・事例研究についてまとめ、発表する。 ・高齢者施設実習で得た体験などを踏まえて、「地域包括ケアシステム構築における多職種連携とチームケア」についての課題を発見し、研究、実験などを通して成果をまとめ発表する。